

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「日華教育學術検討会を
通じて考えたこと」

七月一日(日)、二日(月)に山口県防府市立牟礼南小学校において中華民国の台湾省教育会教師団二十名を迎え、日華教育學術検討会を開催しました。ちなみに一昨年前は、さぬき市立志度小学校と宇多津町立宇多津小学校において学校訪問が開催されています。

今回、私も初めて参加しましたので台湾について感じたことをお伝えしたいと思います。台湾の領事館である代表処へ行ったり日華教育學術検討会に参加したりする度に台湾の方が親日的であるということがすぐに伝わってきます。歴史上では、太平洋戦争の戦争責任でアジアの国々からマイナスのイメージをもたれているように感じていました。

しかし、よく調べてみると日清戦争後、台湾は日本に統治されるようになり、日本が優秀な教育者を派遣し台湾に学校を建て、教育と同時に物事を学ぶ姿勢を根付かせ、台湾の発展に貢献したことが分かりました。また、八田與一の建設した烏山頭ダムによって台湾の農業生産が飛躍的に向上したとも言われています。

このような先輩諸氏のおかげで、台湾は次第に日本人を敬愛するようになり、現在の関係に至っているようです。

また、東日本大震災の時の国別募金額を見るとなんと台湾は世界第二位の義援金を納めているという事実を今回の検討会で知り、現在でも日本を大切に思っていることを感じました。

今回日華教育學術検討会のテーマは、「心の教育」でしたが、台湾の方々の心に触れられた検討会となりました。

「出展：平成二十三年四月四日朝日新聞デジタ

国	金額(億円)
米台湾	29.9
タイ	20.5
オマーン	10.7
中国	9.1
アルジェリア	8.3
英国	7.9
ベトナム	7.8
香港	7.2
フランス	6.1
スイス	5.5
マレーシア	5.1
インド	4.8
ブラジル	4.8
パプアニューギニア	3.2
シンガポール	3.1
オーストラリア	3.0
モンゴル	2.9
フィリピン	2.9
イタリア	2.7

東日本大震災後、上位20位の国(地域)全体では179.6億円(約1億7960万円)が寄せられた

香川の教育のために!

六月五日(火) 十五時より香川県庁北館四階四〇四号会議室において、香川県教育委員会と総括交渉を行った。香教連からは、安本薫委員長(大内小)、相原順之介事務局次長(国分寺南部小)、北村頭吾事務局次長(専従)の三名が出席した。



重点項目として、①様々な教育課題に対応し、きめ細かい指導ができるようにするために一学級三十五名以下学級が全ての小中学校において実施できるようにすること②教職員の多忙化を解消していくために、スクールサポートスタッフの積極的な増配置を促進すること③中学校において部活動指導体制の充実を推進し、部活動の質的向上を図るとともに、部活動を担当する教員の支援を行うために、部活動指導員配置を促進すること④小学校での英語の教科化実施に伴い、児童に質の高い英語教育を受けさせるために、各校への英語専科教員の配置や中学校への接続を含めた学校間の連携の取組をさらに実現していくためにも、小中学校英語教員のさらなる増配置を推進すること⑤「障害者差別解消法」施行にあたり、配慮の必要な児童生徒への個に応じた学習指導や生徒指導が行えるよう、通級指導教室のさらなる充実を図ること⑥学校事務の負担を軽減し、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、ICTによる業務の効率化を図るとともに、指導要録の電子化等を含め、県下で共通化された業務に取り組むことができるよう市町教育委員会に積極的に働きかけること⑦教員を志す熱意をもった優秀な人材確保に向けて、講師に対する特別選考を継続するとともに、採用等の広報活動の充実をより一層図ること、などを要望した。

小柳和代義務教育課長、廣瀬尚子特別支援教育課長からは、各重点項目についてさらに検討に努めていただくことや具体的な回答をいただくことができた。

最後に工代祐司教育長より、「貴重な現場での意見を伺わせていただき本当に感謝している。先生方が現場で大変御苦労されている今日、今後ぜひ現場の声をしっかりと聴かせていただき、今年三月にまとめた「教職員の働き方改革プラン」の実現に向けて、よりよい教育環境づくりをしていきたい。」とおっしゃっていただいた。

一次試験合格を目指し、講師部研修会開催!

六月三十日(土) 九時三十分より、香川県教育会館において、講師に香川大学教育学部准教授・佐藤盛子氏をお迎えし、第三回講師部研修会を行った。

まず初めに佐藤先生より集団討論についての講義を行っていただいた。挨拶の仕方や集団面接の際のポイント等について話していただいた。



その後、実習として「集団面接演習」を行った。佐藤先生はじめ現役の先生方にも御協力いただき、各会場に分かれて、校種別五(八)人で集団面接を行った。実習では出題されたテーマについて自分の意見をまとめ、本番さながらの緊張した面持ちで取り組む参加者の姿が見られた。

また、七月七日(土) 十時より、高松市かわなべスポーツセンターにおいて、第四回講師部研修会を開催した。受講者は、小学校受験者の実技対策、中学校教諭、養護教諭対策の三コースに分かれて受講した。小学校実技試験対策では、陸上運動、水泳の実技試験対策を実施した。OBの先生や現職の先生よりポイントを指導していただいた。



中学校教諭、養護教諭対策では、香川大学教育学部准教授である十河妹氏、現職の養護教諭の先生方より、約二時間にわたり熱心に指導をしていただいた。

講師部の先生方には、目前に迫った教員採用選考試験の一次試験突破を目指し、ぜひ香川県で教員となっていた